

<b>活動名</b>	<b>団体名</b>	特定非営利活動法人 サポートクラブ翔
発達障害のある子どもや学校にいけない子ども 達への支援	<b>地域</b>	山口県周南市
	<b>代表者</b>	理事長 岡崎 和子
	<b>支援金額</b>	20万円
<b>活動概要</b>		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 語りあいま翔：保護者が集い、子どもへの支援について話しあう</li> <li>2. 学びま翔：専門家の指導のもと、子どもの支援について学びあう</li> <li>3. 放課後等デイサービス事業：児童福祉法による子どもたちの社会参加に向けての生活支援及び療育</li> <li>4. 障がい者スポーツ：サッカー、フライングディスク、グラウンドゴルフ、風船バレー、ヨット教室、プール教室</li> <li>5. イベント：そうめん流し、とことこトレイン</li> </ol> <p>◆実施時期 平成 24 年 4 月～平成 24 年 12 月</p> <p>◆参加人数</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①語りあいま翔 25 人</li> <li>②学びま翔 70 人</li> <li>③デイサービス 40 人</li> <li>④サッカー 100 人、グラウンドゴルフ 150 人、ヨット教室 40 人、プール 50 人</li> <li>⑤そうめん 15 人、トレイン 20 人</li> </ol> <p style="text-align: right;">参加総人員：510 名</p>		



「学びま翔」 発達障害のある子どもの支援について、専門家から学んだ



「学びま翔」 広い体育館で自由に遊んだ



子どもたちが、個性、思いのまま自由に段ボールで「自分の家」を作るワークショップ



「学びま翔」 音楽が、リズムが、障害のある子どもたちの能力を育むことを学んだ

◆実施に伴う効果

①語りあいま翔

徳山大学 川島教授の、長い療育の経験から出されるアドバイスは、保護者にとってとても理解しやすく、和やかなムードでの会話ができた。

②学びま翔

各専門の先生の指導の中で、子どもの活動を見ることで保護者が子供の笑顔を見ることができ、新しい支援のきっかけになった。参加された方全員が笑顔で帰られたことが、とても嬉しかった。

◆苦勞した点

①②については、徳山大学 川島教授の経験豊かな現場で培われたアドバイスが、分かりやすく、とても意義深いことであった。

③発達障害のある子どもへの支援については、保護者、支援者も学ぶべきことはまだ多い。

過疎により休校となった、市外から離れた小学校での活動であったが、保護者からは「遠い」のお声が多かった。先住の地域の方々との交流の場にグラウンドゴルフを選択したのは、とても良かったと思っている。研修会を通じて知り合った一人の不登校の子供が、最後の時に保護者から「おかげで子どもが学校に行くようになった！」と聞いた。

◆今後の課題・発展の方向性

発達障害のある子どもへの支援について、他地域での支援や、障がい者の就労についても、検討を始めている。

◆活動を終えての感想・意見等

放課後等デイサービス事業以外の活動は、当初計画していた以上の成果を出すことができたと感じている。それは、アンケート用紙の回答や帰られるときの安心感に満ちた笑顔からである。

感謝のハガキもその表れである。

子どもの支援に疲れた保護者が、一人減り、また一人と、少しずつ前に進んでいることは、実感できた。

前述のように、不登校の小学生を救えたことも、スタッフ全員で喜んだ。

このような団体が絶対に必要であると、私は思っている。